# 琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 軍用地 問題(プライス報告を含む)第二巻

メタデータ	言語:
	出版者:
	公開日: 2019-02-14
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: -
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43857

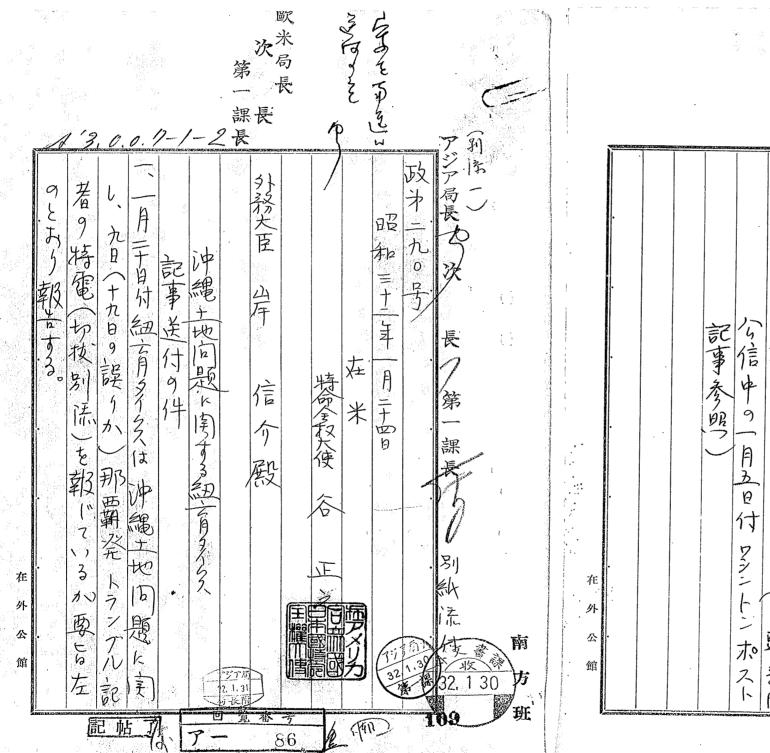
能表 医野工

()

米軍梅牧地ないは、 々異を数なか報せるれてるが、具体は ているように見ら の財政的援助も必要としないとむべれば歌省をし 融質対象の指導者か多り、当初 かるのは当然である。 最近海上隊用地接收までの 及題 予定土 オポテュニスト th 那無復與融省を中 れるが であるよう 可耕地の面積に セントは 地のなる金融精気でも -000 = 0.0 1,000 T-1-1-0 何ら外都から = 0 左のとあり 1,34 6 エカー

瀬馬八日市長就任後 月九日付往信政 於大臣 昭和三十二 ころ、たのとあり報告する。 オ二次大 号 丰 信勿殿 月九日 女 特命全校使 米 月七日国務中省保官の 從軍記看もや に関する件 一ちにより送付せる 民意名首を辞めた。 谷 JF. 等收入 32.1.14 回

外公公



四海兵隊用地接收につては内人に地主 も朝かられることになる。 の追加接收如果に行わ る種の新南には の自由意思によう したりであり、かまなくれていないため、或 孤内は可 地面積 すなに接收 0,000 九子見入二等 地三十工力 日期頭 3)

その他立思移転費用と 地接收費として二十四百万ドルの予算一配賦する。現在まで隆海空の三軍及が海兵隊用 納税者は約五十万ドル 大体ニの一倍の費用を必要とすると見られる を受けているか 現地民の要望人議步した結果,来 話香で不らすと り不安を和けて 詳細な土 对する支排器 批難了れた土地を再調查 以上の文之を必要を 更为 地再一評個の結果 ( ) 3, て五百七十万ドル れた 八国の

いてナ の生産力にた 的三倍に引上かられた。 well を購った。 9声 以前の不満と不信とに しては は、永久に唇所有着の手に残るとの かる代價と引換えた たるとして好しれるへきしましぬの many times 相当する。 地当有者が 明である。 多くり 万里とす て要いる 耕地の返還と土地的有权 これに貢献し 実際に働いて土地を利用 更には米軍は接收 多色的東 以実施 又 伙る に 米国 され t, は沖 相当の 他の要素な 織にみ 金は上 米軍 位によ

4 外 公 館

国用地であるため お記ーガニチュ百エーカー ライエー 厦对地、住宅地这等也了四不二八千二十五 海兵師田用の福 在の接牧地から 五午五百工一力 せて四方二十二十つであるが、 米軍9現在《接收地は、三軍 たこというかの 五東る限り可料 Ħ 733 右のろろ 万二十五百二一カー 總計八 地の接收をまけることにし 收計風を突然健 に実施されたこと、 れる。 を互思した残り 万 一里 とから (属治岳族) となるのは ーチエーカー を返還する は 又分三 二万 は り直し を人を IΗ

国務省係官は 右記事のうち接收並びに返過十地重積 がり移牧計風といべると著 投資することにより 方法を具体化する社会が被地で行名 の同、地代のような投入を確保 茶望者は 可耕地9 自分と 7 2 1 多なめる比別可料 指出代金を開発複金とし (‡ - 9万里息に をから十七% 古教官 包又は配当の形式 1 させるための は Ź 町を りあとか であった数ヶ月 71 んつす

y

3,

中

3

地は

十四%

で接段地

見られる。

9)

万二千五

四治岳隊用地 本信写送付先 日かへてりた。 置りていない したが(記報の自由意思に基いたもの)との19上地があり、新規に一二、3000エーカー接收 計七三、五〇〇二一か一となる。 合計四五、五〇八一かしてあるかこれに他に旧日本政府所有地二一、〇〇八一 からく一个五百上りり過りて しては見けまで ニューコーク (除付属 を食せると 一つののでしか

Ó

· The second

OKINAWA UNREST

OKINAWA UNREST

OKINAWA UNREST

OKINAWA UNREST

Sharply Restricted Military

Land-Buying and Bigger

Payments Please.Island

By ROBERT TRUMBULL

Special to The New York Times.

NAHA, Okinawa, Jan.

Sharply restricted military land acquisition is said here to have allayed much unrest over scarce farm acreage on Okinawa and other islands of the Ryukyuchain reduction in buying has been accompanied by increased payments to native owners, it is estimated, will cost the United States taxpayers reduction in buying has been accompanied by increased payments to native owners.

These concessions to native grievances, it is estimated, will cost the United States taxpayers and some payment is being made on the basis of a resurvey of land productivity and value, undertaken after United States authorities concurred with many of the complaints by Ryukyuans that they were being underpaid.

Till now, Congress has appropriated \$24,000,000 for acquisition of land by the Army, Navy, Air Force and Marines on Okinawa. Reappraisals, in which American experts actually went into the fields and evaluated crops, are expected at least to double this figure. In addition, \$5,700,000 has been appropriated for resettlement of displaced farmers.

Rents Are Tripled Tunder the new formula, rents seed of a few months, ago, when the United States program called for eventual acquisition of land by the Army, Navy, Air Force and Marines on Okinawa. Reappraisals, in which American experts actually went into the fields and evaluated crops, are expected at least to double this figure. In addition, \$5,700,000 has been appropriated for resettlement of displaced farmers.

Rents Are Tripled Tunder the new formula, rents seed for prevention in a rile resurvey. The lumpsum opposition of seed and evaluated crops, are expected at least to double this figure. In addition, \$5,700,000 has been appropriated for the new formula, rents seed for a few months, ago, when the United States process of the propriated for the propriated for eventual acquisit

第二課長 政第三六 外努大臣 トランブル記者の沖縄肉題に関する記事 米主義者が 沖縄向題上関する知首タイ 昭和三十二年 月二十九日 )を掲げているが 四号 岸信 村の件 特命全權大使 那覇市長 イムスは その要旨左の通り 殿 炎 に多選したことは 月九日(~)那覇 ムス 正 32.2..4 14A 7 -121

き保有する此の軍事基地沖縄上 を更に重視す 易民の生治水準引上 島民の不満の主なるものは、軍事面が主とな ると多くの米國及び沖縄人 つて民事には第二次的な考慮しか掛はれ 領土し於ける米國の立場を再評價すべきてあ 島民の対米不 明確な意图の言明を避 りなりこと、米國が桑港条约第三条 9會了左沖緩人指導者達 ら見ても早す る民主文義道子人 くきこと等であるが米側 であり げりなめの御発計画 は考えて 米國は のテンポは母 以軍政 ~るニン、 き米区 の日本 3 江基

任 外 公

が改善されたことは ればならず時旬を要す 見単純な事柄でも 縄人は認めている。 民と米人の関係は改善されたと多くの冲 ビューロクラレーの方が良いと確信してい は高等は のすべてが陸軍の司政よりレレリアン きだて主張しているが 訳でもなくムーア副長度の下に於ては島 指揮系统が國防省につながって、 現地駐在の總督へのかといると よる民政し 唯現在の沖縄施政 タワンシー 切 General 3



あったと守って 事が為かるべきであっちし又出来ためで 地南突、工業化の面で從来更九多くの 本烷寫送什先 3 级育 降什属

外公

# Civil Authority Urged

Civil Authority Urged
From the American side, it is suggested that democracy has been introduced in the Ryukyus too quickly, even in its present limited form.

Most of the leading Okinawans interviewed here have urged replacement of the military government by a civilian authority, with a resident governor general or high commissioner. But not all informed Okinawans are sure that a civilian bureaucracy would be preferable to the Army.

U. S. REAPPRAISAL

INOKINAWA URGED

Many Americans There Hold

Washington Should Study
Island Dissatisfaction

By ROBERT TRUMBULL
Special to The New York Times.
NAHA, Okinawa, Jan. 9—
Election of an anti-American has caused many Americans and Okinawans to urge a critical reappraisal of the United States position in this Japanese territory.

They feel that the decisive vote for Kamejino Senaga, secretary general of the leftist okinawa People's Party, as a manifestation of general dissatisfaction with the United States policies affecting the lives of 800,000 Ryukyuan islanders.

The chief complaints are these of 800,000 Ryukyuan islanders, The chief complaints are these of the United States and States policies affecting the lives of 800,000 Ryukyuan islanders, The chief complaints are these of the United States and the United States administration now nearly twelve years old. But they say a great deal more could and should be done in the fields of public health, housing, organized land development, and establishment of the distancers.

Civil Authority Urged
From the Americans side, it is

3

الآرة ــ

総 アジア局長つ 昭和三十二年二月二十二日南連第一三五号 省ア 沙 つ ア長官声明後の土地問題に関する動き ア 局 た関 送付につい で らまでにお 知らせ、 声明 府 Ø 方連絡 土 方 問 する。 華 課長 務所長から別添のとお に関 する動き 総 理 <u>本等</u> 244

運会長等公席	宮城清告名	親里民五完好	三十九日寺四田地	することいし上れ	針以関するし長皆の声明	工一土地總連合会長	<b>ド</b> した。	ことを再確認し	軍用心内題の解決	対するどの考え	た軍用地向題の司	110 民至党は十八日終務会五周催	反論を出するとる		一心、沖絕青年連合会は	るものて利斯を出	ない、政治内	終料な差清内題であり	内題に就て討議	而長村長会長女	(無所属)並びに	宮良法務局長、	1人。十七日午台二時一日	意思以反し不出	一月日日か土地日前	軍用地內題等下米工使館	1一七十八日午後東大	レ長官声明
小一宣言、次議を行なった。	那朝市長	幹事長中村三男,仲宗根嚴大山	地至大会が南催まれる。東賓とて午儀	(正式以当何至席友通 軍以提出人	以村一五百	古元深意片田	nie V	立法院の総辞班すべきでないとり見解を明	次け米孫相立の理解の上い五うて為されるできてある	対する党の考る方や今后の態度等についる討議	大軍用地回題の早期解決とのいての声明を中心と	星故調会長		総理	公は十六日幹軍国体会議支肉催、上声明	利断を録すてはならない旨を強調したと云かれている。	1	ちり 復帰问題と然	議した。王副長官は土地内題は飽くまでも	市長村長会長等十氏を招き土地问題其の他当面する重要	大班·里·親里民主党主役議員	与儀	神村	不当であると。	土地内題と関するし長政長官の声明は	四外務省以下モを行	午後東大大教育大支中心上する學生的二百名は	後の土地向野火肉する動き
	瑞產點看	山朝常	午儀議長		経、我を照会	下3基本亏		開き明らか	るべきである	めしな結果	心公軍用地內題公	さきに発表し		桥	声明に	かれている。	問をを与る	題化すてき	飽くまでも	面する重要	ながちえ	下里議員	副至席	· ·	沖縄県長の		名は沖縄の動	}

and the second of the second

t

•

No2 10 / 17 三、土地を持る終連合会と五法院各派との土地問題解によっての 復元補償等が表明軍項であるる。 以永久的な一指私人絕對反对。 銀袋会が二十日以内がた。此為者五法院側与儀、長領、富 力実現了講和発到前の損失補償,以一級失地並以用放地の 土地を等う總連合では土地内野解にの具体家とうて名馬の香 總連合会侧告元会長、桑江事務局長その外理事十名 里里富城(寬)、大山新里(善)宫城(清)知念。平良(良) 見を聴取すること、しそのみ一回を四日、高少領、上地(以上タイムス) 当同主席は一月之上日から二月三日にかけて無所属、社大党を公民 土地總運后会では適正補償及び损害補償の后同委员会 会談は上声明が果側の最終方針とるれてれい村する住民側 とつて、能合ったが結論を得す、今后更い名々の正場から結論 比嘉伊礼兼島 桑江、政府から 尚主席及び宮良法務局 五党等各级力幹部上们別的人会談 軍用地問題とつそ銀 を風催事務局の具体学べつて審議、二三の修正を加る略々 ることになった。土地回題は此の会議で新たな段階以入った。 支持方壽り一致矣を発見した後 行政府上最終宴を作成す 住民側とく最終案を何うするか又立法院の没議新規接收等 親始、池宮城(新報)玉城(冲新)を招き終連合から告え、 積極的に乗り出したものと目されている。 対处すでと问題の解決方途以対して抵球側の基本線統一人 鉄をする。これは近く事島か予定されている本土国会代表国人 原茶を承認した。 直接交声を避け孫球政府の責任人於了处理すること。 長が考れ、意見のを換を行なる。そのをかるものける軍村地をの 移のものであった。 の最終態度误量がおういであったが相互以此の探り合いといった 五十年契約以後了土地使用 総

K/. 二九 二七、無所属知為朝功議員は上地内題の具体的解びには 一个土地總連在层对五日宝紫人了富原流銀總数、獨凝疏石打馬 、五席当向氏は 土地内野に対する佐民側の基本線を統一すべく土地幾重后会は 席として、かい村処すべき態ないつって語った。 当同至席は六日記者国と会見、当面する上地问题に言な行政主 った。總連后会は主等意見を参考とて最終的基本方針 教育風係者上一下屋包数批員会長、電門孫大助教授、山里博 你內食糧紅長山城農運会長、居城大東社長外之氏、子人 本土政府の具体的な態度を確認すべきだと 根本を握下けてるらいてい、敗界人の考る方は自分でるなければ 党の考る子として午儀(民至党)氏は党としてはまだ一指私種 物館長等で招き政府から当内至席、神村副立席、客良法物 軍用起連后会人表桑红·沈原正副会長、仲本為美氏等 というをものだ。下里一年所属、多額の資金の運用ができるか 成としては打出していない、土地を表るのにはな対心と。社大党安国氏 最近新聞人、歌男人等と題録会をもってかいればする名政 局長をもをあて事務局のを半具体祭につて 總連后と新国人との意見を換の内容を報告した。 を打出しる弦院なが行政府とう意見を調整し基本線の統一 何うな疑問だと。大瑪人民處、總連后の公聴会け は新聞人の考了方は大体ないと思うの更回降的力視野から を図るべと。 意見かある。 飲めていめ 3、新規接收付定地田烟芝野叶不毛吧以了了付新部厅的人 生みである。原水爆基地とての便用には反対でと、 土地接收以伴う 地料の引上げ上五ヶ年の評個更新をのぞむ等の 五日七十 回題解決の為、取扱り機関の衣室を回ること。 一副最富と高鉄、四日以行かれた土地 述べた 竟見交換を行 型 外 先 協への 府 (東文社納)

16 3

三三 三四一起連后会 桑江边原而正副会長 伸本為美 南崎 亂華 三六軍用土地連后会下は十四日 形霸 真和大雨市至公南部地区の 设嘉縣孫海社,竹內食糧社,大城孫質社,管城大東社,盖如,至清同好会では十百年后、孫銀富原終載、當名腰製糖社 天日午后、モーア一副長唇は北省,為年納の面村支話的村幹 一指私に賛成しているのは佐民利益の五場からであり 年天すると共、軍用心的題の早期解決を許る大。席上当内 すればその概念を考えてあるかと質内 等七名以当同至席之訪 部並以議員達と都談副長官は若し其大力屋がありると 至都の軍の代行機風である云との質问に対し、至席は自方が 委員会で検討するないなろうとないる。 一指松をとすれば他をのる人見を前かなければからないので軍用地を太 を手交し、更に当同金布の代行機関云の発言に対して立法院の 大名は五法院上長额副議長左訪れ、中四回 織した。 らでないとなるた 一指小の金であれば多领 も何も考らていると答うた。それに対し 見解発表を申入れる 1早期解決を期也以敢先地是以南我也傷无力早期解決等 会の決議文心講和条約發到前補償の根本的解決 教諭生社,伊村和一相銀等人的作為了 を場合に備えるとして一指私以低了資金運用の計画につて協 五七人出席,爱任者桑红·她原。津政の正副会長、オブ 委任者協議会を自惟(委任例から地を三三七人の代表として 四原則貫徹以本土政村的協力左得了具体的折衛不對在汉室 此の脚日富原孫銀統裁の私塞とつて接討されたと 一丁五法院か了平夏幸命(社大)平夏良松(社大) しないと話りを都多名村をなる村長は 四一月十九日の地五大会の決議文を しながこれに対して面村と 総 比岩村喜好名即役体 /指松 沖絕軍南地至大 理 头 砂実施され 回り立場か 好好 (東文社納)

164

No 5 新多了でも一括私は祖上する等の方針を決めた。 地主の意志を無利するもったとしている推否する。 没国連にの一括私絶対及対心一部至懈人の資金運用計画按討は東京と記憶は務局長等が列席、対策とつて協議し、使用料的 宮里崇輝(社太)、大鴻喜之郎(人民)の名議員、新政府が 理 府 

総南連第一三四号 アジア局長 昭和三十二年二月二十二日 つたので御参考 九〇号 方 務所長から別添写のと 回覧卷号 243 Ť ··

THE PARTY OF THE P

夏地ブーム軍工事再開 基地経済とブーム问題 墨地经济的積極的建設 新聞新闻 回 三十億円下のまる地大は軍事工事の再小風のキッカケは久志村辺野 「生活を守る会が胡差市で結成不下、これを組織した人名は軍用地向生活を守る会の発足を喜びい、用語新聞 琉球経済のため喜びに耐へない、切野古住民が軍の压力により、或は お部落の地主にちが積極的に軍上土地を提供したからではないだろうか。 直接上接收したと云うりは辺野古住民加誘致したてあり基地設 らってはれたものである。辺野古は伊佐次や伊江台とは果り軍が だままたとかの一部のたける非難は当っていない。全地主の希望に 定と観迎さえもしてある。これ我をが考っなければならない問題がある できてあり、この我们会を窓しては琉球経済の再進はあり、た比除真剣上巻地経済の積極的解清政策を打す樹てる それは昼地設定にようて得らかる村益と無視する論である。故四野古の新規接收は四原則の角を崩すものとして反対しているが レベニソソア 政府經濟企图多調查下月十多市町村經濟の振兴計風進 得ない、よろしく積極的に対米協力と打ち出すべきである。 芙華主義の防衛のためのものであり疏米双方の理解と親毒促進 外にはないと我々は考している、その笑からこの会は軍用地可息の解決と 百害ある一利なしとした人である。琉球の繁栄は米國との協調以 のためのものである。 題で沖縄を騒がせ米軍をヒバウレた瀬長(人民)兼次(私大)氏学の言は ている度合が強く純農村と見做かせるとうはかい の進揚でありその経済動何小巷地経済としての形能に物行し 務状況によると全市町村が平均五の%沖縄中名丈りは七の一 沖殿緩全面了差地經濟下了經濟行動が営ま小進展上了行 一声明後於什る軍用地门起以與する新軍論 再獨新可 調 (その) 20% (東文社納)

一様神とインフレ 土地総連の解決業について 「考闻主席は地価は変動するから一抵押の受取りに反対するというのは 明満解決心論をまとめる 括爱取了の疑问」 (用人的 く現実は何人も否定できるい、我々は積極的基地経済の面も打ち去し 土地連合含では政府側も临席と此て、敗界 一方の安易が対策で、指押いに対するならばイラレは避けれないだろう。 沖縄の文化的発展を主張するそのためには米國の基地政策に助力 当了りないと述べ終清人は長期一括批食取りが有利だとしている。 高原流銀統裁は活神いでナ六大ヶ年分約五七億日円とて事業投資 うである。そかによって始めて基地紀者の進展が可能とはる。 方面主席からうりつい所有權が確保永且又無期限地役权已米 ではインンは起らないとする結論にはならない。若と一番私いで五十億円 ることはけいとしてソるが、不は資金回転を無視した計算である。これだけ し我の誠者に以て実行に移すことにう米國の援助を要請すべ 秀へている通り一括受取りでイラレは起りない資金はグブリからい。 側が取得するのでなければ」だとの笑の心配はないものとしても経済人の 不可能と見ばりかばなりない、うかっないとでは経済的に我は難い状能から質金を抱えるとすかは現在の沖縄の金融会の能力ではその操作は 下于大億円家屋建築や土地構入二十億円残額一四億円で資金が飲 却で発清基盤ができる等効用面の強調をあるの疑问をもつに富 への質的現球内での投資にてもどう尚軍にゆくまい。現金に対 かとはそりる今日を忘れた放言だとしか受取れない。与同主席の中土 原硫銀統裁作大見業を切る了了一个婦人人的融資級慢力做 我でこむことを知るべきである。 しては政治的強权を以て使途の規制はできない、現在光せない事業 が一抵抑の資金でおかば兴せる辛は無責任もむしい、 (解称新報) 一月五日沖縄新闻 報送界 理 教育 文化图

南米琉双方下了多女員会的設置成軍用地问题所管我與的抗吃的神 である。 後見得法の制定考をうたった。その外注目すべきは或程度の新規 土地総連合が今までの米琉四方の主張が平行線を辿っていることに対し その同人の地主主求側の直接或清折衛を見めて琉球政府に代行せらる 係有を招致して軍用地问起解決具作業につて犯談会を閉りた。これは さうとしている好力に対しこれをを賞するいやかこかではない、我々は軍用 一つの交叉、気を発見し解決を図らうとする努力である。 了地问题:对对了 七世的是の解決の人だをこの親心状會によって見去したかのような 七地河是了新大厅事展展展 展型 (湖水新報) 感りがする。 士地问起解决。建一旦一种緩新闻 法院でも今日末だ四原則放棄の声明はしていないかの原則にま 完全に同分子にいける定できない。上地で守る統連合でも又立 戦性をもなせることは趣味明らかにしている. 大多数の地主のために少数地主が犠牲になるということが四原則の下 とが肝事要だし四原則に新らし、展園を必要とするものであれ 七切的是が移めて複雑で到的、处理し難しまのを内蔵して はこれと論理的に打するてるべきである。その何れともつかないのが現 て来る、故心四原則を貫徹するなりは天小を地主に納得させるこ に越るとすかばそかは正しいことではない。----大地就連合がまった各界 状のもたつきであるから充分的討議がは要で いるために同思が具体的になる表ると見解の整理も困難とは は一括判に対する賛あである、特に経済人としては宮城業に D 土地經連が四原則を大中に解釈し話し合い余地と見出 山城菜便等了孩科:發成 遇側の見解は久だ村辺野ちのケ 要人の親心談会で門起にはう これで受話すべいと主張し ある。 ースにあって

東文社納

「土地総連合会は一百面に中中中からて土地可能に就て、「不べこの舒定と終うする」(川土神縄タイムス) 上地问题之行政府,性格 黑謀的石山 どが我々も例氏り者心見を支持 美業人は何小り何小大の金が沖縄に流 方向主席の土地问题:対する根本的はまりへ方は一括松、類成で 縄人が零網表で生計が営まれるという歩へ方は再検討すべき 選であるとと割り切った発言をしている。 軍用地問題と関連して方面主席は「行政主席は軍の代行枝 である。従って上地に対する考へ方も変えるべきであると思う。 るのであるから 任命主席である限り任命 要するに土地的起の焦之天は一抵松上一对する横西にある我会は 本的能度を決定すべく踏かあした、小は解決へあが削進する済、教育文化関係者の意見を聽く公聽会も同催し解決への基 転換かせることが琉球にはアラスするものと考へる。ーーー等積極的にはかり農業一辺倒の琉球経済を生産企業へ 側加琉球政府を設了下目的は住民の繁荣、福祉增進去 的構造の再模計と生產資金、力投入転業資金、力投入 奥の充実の三臭はみくが支持していると気であらう土地総連合のを 角の努力をネズミの手足に終らしぬめてはならない 中学本は現段階では一応住民の支持を受けるものとあってあい、折 責任を見うこと必軍民双方による委員会の設置以取り扱い機 したものと見るべきだ。こり合を通じて以琉球政府折貨の全面的 移松を養成とすり題の金上度、食取り琉球經清の全般 今日では土地彩連合い村里根本的一村立している。 リ又政策的に運営する限り経済的心配無用である。沖 神縄以人公文 行政所の責任者が対軍所傷了も対任民州 す 者に思誠をつくすことは j うともドルの裏付 判るが米 報道、能 (東文社納)

11-

いまでの自治の幻想と政治の首果がありはしなか、たろうか。生産にないまでの自治の幻想と政治の首果がありはしなか、そことがかまいところから自然とまてしるようにも田でくる。そこがまでの自治の幻想と政治の首果がありはしなか、たろうか。主席に政政の手展がありはしなか、たろうか。主席に政政の手展がありはしなか、たろうか。主席に政政の手様できたが、とこの政治があると思う、	のではなるではほの不利益をあってまでも軍の施策を進めるとはなるが、とうではなるないではない。 一大河とはなってははようではは、カラとはなってはなるないであった。 一大河とはなってはないでは、一大流球の政界を対しては、大河とは、一石を投げをもので余りにも情けらいに変をあった。 一大河とは、一石を投げをもので余りにも情けらい能で度と断めるとは、一石を投げをもので余りにも情けらい能で度と断めるとは、一大流球の政界が、大河とは、一大流球の政界が、大河とは、一大河とは、一大河、大河、大河、大河、大河、大河、大河、大河、大河、大河、大河、大河、大河、大	むらの任命は者に忠誠たるためにも米則と住民側の音見を進める首を信がいてとしたことに対してけて小で言葉とは思うが主席はある首を強く探るべきだとするのは誠に残合といか中山になり、
おうにも思いる。そこれがあると思うから主席に改ったろうから主席にときるの目標であると思うりとと	一選 選 をする は 一次 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	民側の音色を進れているとは思うが主席は、現文献的

•

び (二) 標 昭和三十二年三月四総南連第一五六号 アジア局長 写 記 () 局長 次 H' 南 方 送る 方 総 する。 理 77万局\ 32.3.,5 第一課 記帖了

一格松的可否 主席二括松山 「上地統連合の軍用地问题解决来調整の動きにも均はらず「好私の心企業の振光」「明光的新闻」 主席は今日尚一格押は地主の利益になるとする目覚を改めているい 自説を地主に強制することが許えないことは主席が知られ苦はないし 在守る会經連合会と努力し一件となって米側とり解決矣の発見 又主席は強制しはいだろう、故い主席に望か度いとであり又その義 ことは米側との多協奏を見出すべく渾身の努力を続ける土地 のを待って主席の見解を明らからすべきだ、そかりしもモット望ましい 務なりとする具は地主達が理解できるよう詳細に説明すること 地統連が目途としているように世論がまとするもりか疑合にをもつこと だ。又地主達もとからみどんでいる 事たと違はなかし 生産業を起すことが琉球を消し数すると思いう。 土地问题の焦矣は一搭私に対する賛恋にかっている、我をは一括私の 各界の意見は特い活知に就では甲論乙数を感かる、從で 多いい円の探作べ裏付けがある限りインシャの心配もない、っ切い里 河 題は地生の此金を借りて ビール会社、セメント 甲は琉球経済には決してからスにはあらない、基本産業の振光は 軍用地の一括松が実施不下ら いるという。 る私大は運用資金をめぐり経済界では真剣は検討をからて であいとの見解ともっている。一括松り金は琉球政府が運用し差を 努力すべきだ レムシック 声明後の軍用地问題に対する新月論 会社、フルーフラワ 神繩多个 政府が 主席は各界の音心見のまとまる レス 会私造船等資金了需要大 如 ۲ 何に運用するかある。 n 板定立て一時に放出え 調 くろの三

(東文社納)

二对米折衛分能度 具体学生折衝の年化四 の風心は深い、赤く方は人いよう果る。同時に立とるな機性を拂了地総連合の軍用地的起解決具体柔を如何に決定するが住民具体学を折衡の年化し「再生的なくな) 大な時期である。このピンケに際し方で一番私いを削提とした課定この最終来で(一番私い阻止)以て问题解決以削進しようとする重 がなれていることは例へ政治的问题はとは別個なりと追明したとこ とうが現実はそうとやすく割 情勢の変化ともかい合い、住民側の能力度は少うしたるとまた感 ことは明らかでかる重大事を前にして経済人が年をまぬいている法は ろで事たと違い何等の形での一枝刊、食け入かりの動園にはること 何十億という大金の支払いを受けると経済 の演りは深い。 に政府が責任を負うべきことは当然である、然をるに古元合長が 艺元会長の多は何とかして解決したいとする世論と具体多木も折衝 色深入力る。」 でも四原則もが著するが生まれ去りはいる果焼り話であるい政治 八配している一部財界人の打算的制己にとうりりは舞台裏の取 も当然一年化すべきとする世論とを代表したものといってよいだろう 払い受了かり経済的準備が整へりと見た場合今後の対米折外に何っても全と影響がないと云でい。米國政府がかと以て一括 はないだらうか。し 優先の放言もよることけがら政争を対未同起下近特出し動を この大前提は少りが望特すべきである。住民の利益を守るため 街にも大きい影響を光ふるいちかいない。 引を印象土せる言動や當面主席の代行枝関説の伴う軍 経済分動きが拡大する米国の政策者達に実情の認識を 誤らしかることがあってはその養化は一体難が関うべきであらうか。 り切ったものではないのである。・・・ 一里で大きな変化を大人る 総 理

多切分本を見出す好力を 大地问题也私大人民山 湖郊新報 総連合は今日近の努力の結果或協調線を打ち出しているかちぬ 美に政界の基本葉は家を整大個とのケースに対处する具体来 さらす政党政然の影調の乱な遺版千万である。 各界との発送会で條件付け新規接收を認め、地料を引上げ 今日住民は誰と類りにすべてか、かしても条件と言いして上地を受す 五年一年の地個好個更新と前的心を認めた、以中部地区地主の安 独りらがりの上門を素通りして行っているめではないか・し を作り上でることは政界の勤めでなくてはならない。河島は政界の 全地主は見取近の犯談会で大作土地流進事務局来を承認 化有受化者の協議会に於ける一搭松い推否、问题の打風を上地 清面のかに限った割り切った秀へ方、我在大党及公人民党の四原連合会上任の表明的一部経済人の一移私」受缺の问题正経 しているとおう。工地能連り具体多米は米民政府のあ支棒をかって 折衝等几乙政府の責任の切とするが最終段階に来たかの 見の調整は勿論、各筋臭の発見、本土政府とり折貨、対軍 好見と無責任は禁物である。 則理持の能度声明といったのが今日の音に見の分野である。從う内 はこといなりまる早神での土地的 このことは主席の行動の如何ということにもなるが差し当って音に 上地沿連合としては最於決定までは思力とあけて者見の調整 起は不ら平行線をはす主張の多切し天を見出すことだがそれには もりだと主張する者があり、そから多数の者見を利するよ しなから対軍折街を進めたいもしている。 をけかるべきである。古ん会長以太具体送水が出来に了主席と調整 感がのあると地心起の鍵であらう 年親タイムス 起の解決なりぞめないものと 理 (東文社納)

三國會議員团の系包 国会議員団の沖縄问题の四満な話し合いとつけるためである国会議員団の来なと現地側の心構入し、紙米新報) 場での見解だとすかが話は一致しない。 能に度を持るとうといが必連は米國の声明を信用しないという立 私人人民は当初から四原則は不動なのものとして工地能連上反対 新人る声を割るるい 私人人民共下原則論から一新個人力地主力現実下足を踏み一个 「近」中に國会議員団が来なするがそり場合には一笑は軍甲 考察する必要がある。これとクソ現実論だと云うならは最早 古かべきあ物もない。 本工政府が実質的以上地问题下了了对米折衛をした結果米國 立している印象を失えているが国会議員団を迎え相挙うては一種払い、新規接收の一段目をめぐて硬軟三の見解が対 そご新える声がろう 起は何小も他を頼り外に何うて訴えぬばはらないものはかりである 側の主張一般和の保が見らかんことも肯丁 馬かなと野けたい 我々現地側が考了るできことは解決っために彼等の弱力を求め ることであるから沖張问起と俊等の政治活動一利用させ いとうが現実の事能の政善方途いつて者に見の相違があら から一行五名の見解が分裂することは沖運側にとそ好す 似等に知らせ判断と似生になかせることだ、主観的考及 てはからないとおうことが、そのだめには多観的事実をありのまい うことは充分にる理べかる。 沖機タイムス してあそはならない。今日土地可といい 逆動果已招人親米日反果日人の自由 る、沖縄から面する面 理 府 しくしょ d

(東文社納)

四土地計图新布食下了了 了一長官が米國の最後的方針を声明と以来土地流運が沖縄側の工地新布全の公布山(平)地處多了文) い中心布をが布公布系米側の政策実施が平移的になった印 能度を決めるべく親談会を重ねて来ているが来だ統一線が古な 傍観的能度であったと去へる。工地门起は最終股份に来 象を受ける、沖縄側が折衝方針で愛らかぐりをしている面の たとの用をしまってもらいたい 院々行政府は口では重要问题、四原則云々と云の下ら挨牛 へかない。要は今後如何に対处すべきかということであらう。立法 るべきだ、淡んとるいで臭実を知らせる気構之が肝事である。 であるが主観をブツッケても相手がそのまいらはけんかるものではいことも知 これを以て一方的だと議論をしても米例が引っこめるものと特はた に動いて来なだいろうか、内容は許らかでけいが活れは既定す お来事であることは見なのかせない。 沖縄的題は米軍が駐留している面の問題であるとも記載して 針通りだと而かもし声明に法的基礎を共へるものだと示いる。 あくべきだ。 神遇多公文 小道:政府や政党作如何 総

(東文社納)

政 経 情報

32.

(عل

昭和辛二年二月 11十八日 1 桶門

那覇市役所私員組合 酮

類長人民党市長と那覇市役所取員組合上の其の後の関係は多くの

関係は極めて命をい様である。 人々が最も関心を寄せておる様だが一部の執行委員を除いては人民党との 合と資金のカンパを依賴する書面が来て執行委員では直ちに同意を ル・ルディーラ会社カストに関してる取員組

次生して中央委員に四つた処、次の理由で断った様で。

的い活動が出来る様にする事が紧急の内題でと思う。 耻員組合はまで法内組合となるわらない。 今の処法内組合として合法

五法院ない野政労組も組合来総成のレルテーラ社労仍者の資金 カンパトだじていない。

纟 いいてーラの争議が正当なすのであるか否かい就りてもまだはっきりない

ところが執行委員ニア五人中以数人の人民党に通ずる分子が居てティーラ

(委員長中転取)安里書記長は現孫銀本店調查役の安里栄繁 争議と参加しようとする氣配が全力ないとは言えない。然し委員長代理 氏の子見で大変しかり者だから数名の人民党側に引張られることはない

**ぐ**ろう。 中央委員の委員長は水道調の私心盛塩人で泉議長と

専属私員組合を置くことは職長市は同意しておるが議会のび議を 通じて反瀬長の線を保って居る。 私員組合からの希望で私員組合

経なっと置けなって泉議長に関って処しくな事は出まなっと断られて

しまった。今の处閣以瀬長就任当時以要望した事項は守られてある

临時取員の復取る幾分達せられてあるので内題の起り得べる要因

ない様で。行政府の代行的業務を持ておるところの部額は前と

受りなく 仕事はあるが予算の伴う復興、事業担当の技術部面の

取員は手持無妙妙で側から見てる気の多ななである。

水就 17 7

前進不可能な観念的な葉を持る奇るであるう。私大党も人民党も わせない意見の解師でれまで十分に聞いているから発言した人は具体祭 案を持ち寄る集まることなるあるが結局具体的なりのは持ちずと 支持是発議して買いたいとの希望以低り人民党の社大党の产五日具体 抬松いと新观接收は頭底いずれないとけっきり言うなあるので事務局 十二月午日の理事会では古元会長が司会と同時に具体案を持ち合

寒とり相違実は男と残るであるう。青年連合会も仲宗根事務局長 は私大党と同一意見をと述べて居る。 此的題は今では感情的な対立と発展しておる様で。 最初 社太党

言う事で散会した。ところが事務局が具体案を作成して例の関係者を の嵩原党務都長、又吉人民党書記長、知念無所属議員を事務 局以集めて具体案作成を依頼した処、事務局で作る後接討しようと

呼び Ł あると言い張る検討を断ったってとれ以ま、努力を無視された事務局 社大人民面政党は蘇情的になるおる様である。 機對して了真何から、具体累け四原則を無視した越权行為で

ある。 る。 感情を無視して見解まの相思としてどうしても一致しかい更は次の様で

社大人民は領土村は日本にあるの、米国が 权力けあり得ないと重張してある。 沖縄の土地を探收する公

**/**, 土地總連なび民主党は三人が統成到島米國民政府以与るられて

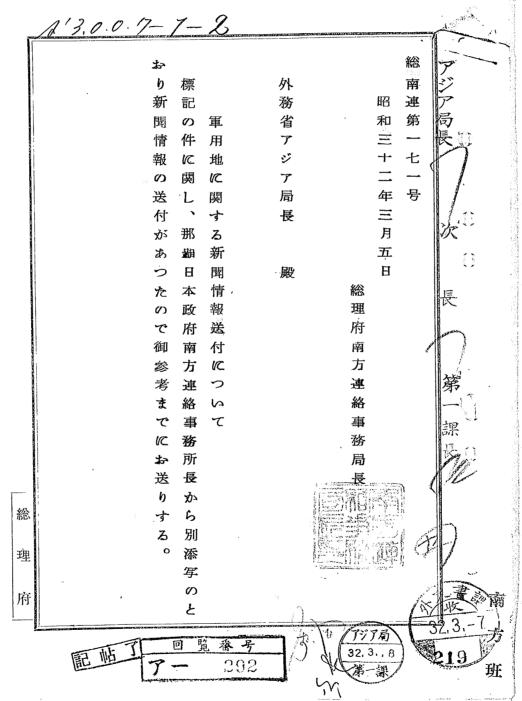
以与見解の相違は国際独上人於ても意見かるちくで新規接收向 おる以上と切り接収权である公权力は 当然 米国い属する

題と関連で極や難问題とかるであるう。

柔江事務局長は方迄面会を申込してり民政社が合って受れなかった

具体案作成以系 民政者より好意を持ちてある格である。

地元例カスケジュールる 思 5. 土地總連、市町村長会、土地連合会で左の通り巡視行程を作成している。 と言う私策を出して居るが企業とまかしたして人後は後は銀行に還る 金であり其の後の使年が明確でならて同意出るない不完全な案と 近日 早議員国心現道順(所要時向 九時前) 一个人鱼 (ゴルフ場地主の生活状況(悲惨と云う)→ 戦東宮里(解放地) 民報)」伊佐廷(強权收用の説明)」普天向飛行場(解改 の其の後の生活ント中城、西原、首里、那覇。 业(默認新作地)→县志川赤道→勝連平數屋(不使用 予室地及復元不能地) 少ライカム前(ゴルフ場)→中城東島袋 (以上土地總連事務局談話中年り) 那覇→浦添小湾山大山陸軍病院(との敷地代と隣接地代との →比谷砂辺→嘉手納(飛行場(为收用地)→読浴接口 本的する日本議員団の日報は民政府の方で作成されてわるが 地代の使なと就らて 我銀總裁が一指払いとれるであるう たり後の セメント工場なが其の他の企業以必要 孫銀運用 地至が希望に依り必要として受領 地至の生活説明》→ 泡蘭→インスミー宿(伊佐紙住民 組みかれて受れと東京司や都と申込んであるぞ



9 Feb. 1957 Morning Star

### 'USELESS TO SPECULATE' NOW ON OKINAWA'S REVERSION

Compiled from Wire Services WASHINGTON, Feb. 8 - American officials said yesterday it was useless to speculate on when the United States might return Okinawa and the Bonins to Japan.

They recalled numerous statements by President Eisenhower and Secretary of State John Foster Dulles to the effect that Okinawa would be held by the US so long as there is "tension" in the Far East. That is still the position, they said.

The Bonins fall in the same category as Okinawa and the  $\ensuremath{\mathrm{Ryukyus}}$  , they added.

Diplomatic authorities here said it appeared that recurrent Japanese speculation on the return of Okinawa stemmed from the desire of some politicians to keep the issue alive as a means of bidding for domestic support.

Japanese officials, they added, are well aware of the American position, which has been made clear to them both in private talks and public Washington announcements over the past four years.

Under article three of the Japanese peace treaty, Japan agreed to "concur in any proposal" the US might make to place Okinawa, the rest of the Ryukyus, and the Bonins under United Nations trusteeship, with the US as sole administering authority. The treaty provided that until there is such a proposal, the US would retain complete control of the islands.

Actually, the trusteeship idea is not considered in diplomatic circles any more and the general assumption is that when the US decides it no longer needs Okinawa and the Bonins for strategic purposes, they will be returned outright to Japan.

However, officials see no prospect for relaxation of "tension" in the Far East and, consequently, no prospect for the return of Okinawa and the Bonins in the foreseeable future.

Meanwhile, Japan's determination to achieve an independent position in world affairs within the framework of the United Nations is a natural and healthy development, US officials commented yesterday.

This reaction to the foreign policy speech of acting Premier Nobusuke Kishi before the diet earlier this week was made as US Ambassador Douglas Mac-Arthur 11 departed for his new post in Tokyo.

Officials who studied the Kishi message closely said that after  $11\frac{1}{2}$  years of close post-war relations with the US it is only natural that Japan should be eager to develop its independent position whenever possible in world affairs.

Yet officials here are convinced Japan's leaders reslize there are congnant reasons for Japan to continue working together with the United States for some time to come.

8 Feb. 1957 Morning Star

'NO COMPROMISE, 'NAHA ASSEMBLY VOWS AS 11-DAY SESSION ENDS; SENAGA NON-CONFIDENCE LACKING

The Naha city assembly wound up its ll-day special session yesterday by passing a resolution against recently-elected OPP mayor Kamejiro Senaga, but failed to bring up any vote of non-confidence during the stormy meeting featured by charges and countercharges from both the pro and anti-American factions.

The resolution, decided by the 27 pro-US and anti-Senaga councilmen during a recess, vowed "absolutely no compromise" with the mayor elected Christmas day.

While saying there is a "difference of opinion" between Senaga and the assembly, the half-page resolution said: "The recent deadlocks in the city rebuilding projects, and especially the frozen funds, were brought upon the city because Kamejiro Senaga, notorious anti-US advocate, was elected mayor of Naha.

"His anti-US political back-ground is the only reason, and he himself is entirely responsible, for the current difficulties. Therefore, we request in the name of the city assembly that Mayor Senaga exert his utmost to get the city back on a sound financial basis and put the city rebuilding, the water system and the zoning programs into normal operation before the assembly's regular session in March."

In the seven-hour session, Senaga earlier had contended "that Okinawans' democracy is being endangered seriously by an idocracy widespread among US military backers and financiars here because of the prolonged frozen funds," and reiterated "no matter how great the anti-Senaga movement may become, I will not resign."

Calling himself an "anti-US military occupation advocate," Senaga charged that Gushichian-son assembly had been "oppressed by outright military pressure" and made to refuse its water and facilities to the "110,000 water-hungry citizens of Naha."

Recently the Cushichian-son assembly refused to relieve the capital city's water shortage "as long as the OPP's Senaga remains in the mayor's post." Senaga charged yesterday that there is "strong evidence that strong military agents acted with some retaliation threat" on the village leaders.

During one sharp exchange, the only woman on the council, Tsuru Kakaju, representing Shuri, shouted at Senaga, "You have mentioned

nothing in your administration plans concerning the huge problems facing Naha women and children's education."

Reisho Toguchi, another conservative assemblyman, called the mayor "devilish" and criticized him for having "plotted a number of intrigues against the US military in line with communistic theory and following red slogans."

22 Feb. 1957 Morning Star

## REVERSION RUMOR SCARES OKINAWA BUSINESSMEN

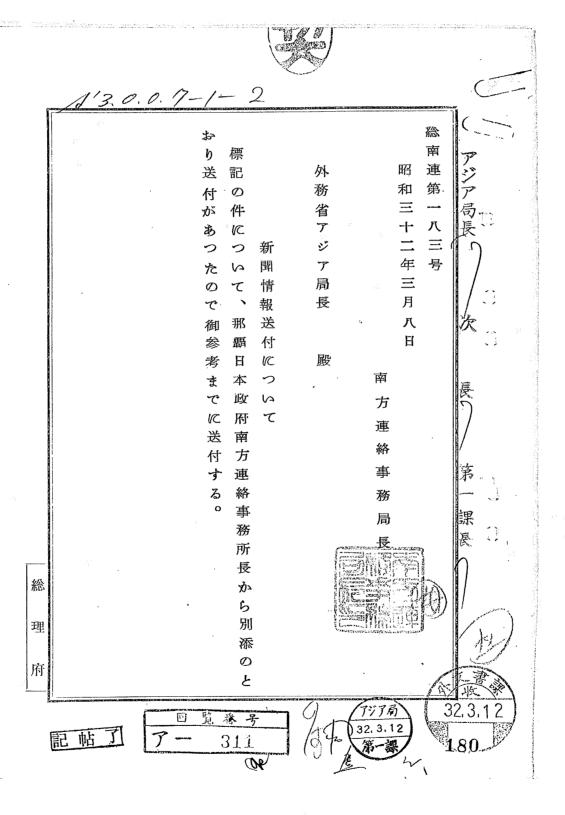
A current rumor on Okinawa, "The July Story," reportedly has local businessmen excited and scared.

Traveling salesmen from Japan have been reported in the Ryukyu Shimpo as circulating a story that the US will turn over its administration of the Ryukyu Islands to Japan in July.

They were quoted as saying the story is rampant in Japan.

The visitors substantiate their story, the article said, by calling attention to Japan's recent admission to the UN and the planned transfer of the US Far East Command headquarters to Hawaii in July.

Ryukyuan businessmen have been quoted as saying, "If the rumor is true, it will definitely cause a tremendous economic 'shake up' all around the financial and industrial circles here."



14 Feb. 1957 Morning Star

### YONAGUNI ELECTS LEFTIST MAYOR

Citizens of Yonaguni-cho, capital city of Yonaguni-jima, the southernmost island in the Ryukyu chain situated near Formasa, yesterday elected a left wing socialist as the town's mayor in a hot election, it was reported.

Komei Nakadake, registered as a member of the socialist masses party, which is the strongest opposition in the Ryukyu's 29-man legislature, nosed out a democratic candidate to win the mayorality.

It was predicted, however, that Nakadake will have to face numerous difficulties in his new position because of the concentrated opposition of the democrats who lost the vote despite their overshelming majority in the 14-man town assembly.

According to the report, the assembly consists of nine democrats and five socialist masses members and the demos are mapping plans to knock the socialist mayor out of office.

14 Feb. 1957 Morning Star

### INDUSTRIALISTS HERE PLAN USE OF LUMPS SUM LAND RENTAL FUNDS

Okinawan industrialists, expressing a common desire to accept lump sum landirental payment here, started mapping plans to handle the fund

Members of "keizai doko-kai" (Business friends association), organized by 12 influential Ryukyuan businessmen last November on the land payment, met in Naha this week and discussed various ideas regarding the industrial use of the money in the future.

Eight of the 12 members attended the first meeting Tuesday. They were Moriyasu Tomihara, president of the Bank of Ryukyus; Noboru Kakazu, president of Ryukyu Life Insurance company; Seiei Nakamura, president of Daiichisogo bank; Shoyu Funakoshi, president of Okinawa Flour Mill company; Wasaburo Takeuchi, president of Okinawa Food Company; Kamakichi Oshiro, president of Ryukyu Motion Picture Trading company; and Jinshiro Miyagi, president of Daito Sugar company.

Four other members of the organization, Kotaro Kokuba, president of Kokuba-gumi Construction company; Ichiro Inamine, president of Ryukyu Oil company, Hikosho Nagamine, president of Ryukyu Fishing company; and Eitoku Yamashiro, president of Tyukyu Agriculture company, were absent from the meeting because of other engagements.

The eight leaders discussed what they called a "Tomihara plan," submitted to the meeting by Tomihara of the Bank of Ryukyus, whose main ideas are on land reclamation, Yaeyama development, construction of ocean-going vessels, investment of the funds in Japan, emigration and promotion of deep sea fishing.

南連事的の気をれってなり電の 了五次完以表 新里外四日 なお羽田着井午后三時三の分養の門及 我和立法追送是以多 亲口回知 7ならの私越之 リースこくたのし Mo

ATA TOWNSON 近期十二十分表記は

Trebeta to the state of the section of the section

民主党は一一百里名議員総会也同催、土地问题以对する今後的解決 第一回軍用地以用後の名方面の動き(生)

対外法として土地総連安を強く押し去さんとする強硬者に見も可成り去 方法と布令第一六四子の研究等を打ち合せた、又岸首相の渡米前に

「一百千后子儀議長と親里幹事長は民政府につうてて又連路官と訪い

「布会にある限定付保有权につて種々の解釈があるので本上専门家の解 明色来の度い。そのためには立法院から四名の代表を早色に私遺したいとこ

かい対しつうイマス連絡官は民政府首腦部ともよく話し合って見ようと

二子儀議長、並び八民主党親里幹事長は二首午后神科副主席を訪 収、軍用地问题與係で立法院から代表者を派遣する。このことは千三日の

土地特別委員会で決定し度い旨もはへに、

年自立法院各派の代表は議長室に集まり、平台来台のしいジアー長

宮、マナン陸軍次的等級に対处する方策について話し合った。その結果

主儀議長、長續副議の外人民党を除る然代表が立法院代表とて 会見、敢一括松取り上の等の方面の問題について要望し会談することを決め

フライマス連絡官に申してかた。

五子儀議長は行政所以神科副王席を訪れし長官等一行と立法院

代表との会談には当旬主席しも同席するよう中しかとした。

大立法院上地特别长夏会你一三日阅会、上地能連合安然了了一括孙心间 題、代表の本土派遣问起等下つて審議した。此会議で早多に統

連辛を認めたいとする民主意側と活動を喰いとめて、毎年初いにする

ことと決めるだけでよりとする紅大意、馬州展、及の人民党との向下者に見

の食い湯があり結論を得なかった。

米國路軍次官了工艺公氏及公公了以下一長官不平四日琉球政府也訪的 方向主席並の下立法院代表と大人会談した。立法院代表としては、子 儀議長、民主党親里幹事長、同党里政調会長、 秩党平良書

記長、無所属新里養福の諸氏が出席した。会談は一括打下中

いとした軍用地问題に然始しし長官は川米國は軍用地は対して充

かはる地代を払う以地生との前に介在する諸南起を解決する用音の

ある。その第一からて不用地の解放、新規接收の最少限度につい

楼封する、引孫球の上地の所有权之永代借地权は取得した。少年

南地代の代けりにそれと数格上国る多額の現金と上地使用の代償とし て地主に支払う用者へかあると既定方針は変りけい旨を水でた。

右会談後李儀議長以下四名は当旬主席と会談対策与そ

協議したがこかという具体業は生からかった。席上多面主席の一括 料~賞全の政府運用の问题もあたが立法院としては、一括払い阻止

今後の話り合いてもって行いことでした。

を決議した年前次善の策として協議する記けいゆかず问题を

千五日当间主席は民主党幹部と上地问题について話し合った。民主

党側は当面の问题として)括料に反対を強硬に押し進めると同

将下、一括私が避けふない場合力対策も考りへ三段構への音句で ある旨を話した。同党は從来太中土の自民党と連携して来たことで

あり、特にフモラの次官の強機硬態度に直面して今日で上政府

を通じての解決を期係する外に方法はない程情勢は急泊していると

て、首相渡米に際し、当方の括料及対の決議を携行してもら

ことにていると、主席小巷松賞金の政府 運用を上地问题に

一段和:実施の足のの景務契約である、「下による及れに乗り戻すが行うことが判るよいによるが、一段和:実施の足のの景務契約である、「下による及れに乗り戻すると、 一段和:実施の足のの景務契約である、「下による及れに乗り戻する地域に 本大・ラーをし、明彦市、天城、佐敷、大里の各村。軍用地三中に対 ・対し契約期间中で手とする地科 毎年 払いによる定期賃信収 ・対し契約期间中で手とする地科 毎年 払いよる定期賃信収 ・対し契約期间中で手とする地科 毎年 払いよる定期賃信収 ・対し契約期间中で手とする地科 毎年 払いよる定期賃信収 ・対局新星(巻き)の諸氏を水造すること、決定した、 でによる定期賃信収 ・対局新星(巻き)の諸氏を水造すること、決定した。
---

結 段 軍に 用入 地っ 問た 題 軍 の用 内地 面問 的題 (8)

知 て地 Ø IC 0 内 書 团 入 第 第 0 9 な C た -号 Ь 相 ZQZ 以 来 を あ F 呈 る り は 0 L ح 毎 布 内 0 7 年 払 的 C 題 1 る な ば M ---ic I 9 告 0 拡 專 用 5 た b C I. 거 令 る 号 9 ØS. ---r 括 C 定 b Ø 法 賃 3 b **L**A 方 ځ 院 借 状 第 繩 権 • 式 0 云 土 0 軍 地 定 阻 収 総 止 地 で 行 連 ይ 先そ 損 題 きの害は書 極他補大宜

بيغ 4 は な χįΣ 及 間 25 題 は \_\_ B 号 括 3 五で 払 月現 5 十 在 ı 八ま る期 限 0 定 箅 施 付 自 由状 保設次 有 況 意 で権 思 設め ic it よ 第 定 b る **-** を 殆 譲号内ん

球 収 右 主 L 令 がま希 প্ত K が 託 年 政 T り室 n 3 払府 L 何行 手 n VI. 3 0 n S 根化 法 老 ح ع 拠不令 主 定 ح 垩 号 10 · 5 C 0 由 なる F 応 老 重 り 利 3 Ľ 受 方 b 不 7 者 なり的 ば £ 0 製 τ 老 右 運 XDS. Ø 登 料斯 (2 Ø そ Ø う な 布 重 0 を 代な 6 Ť 行 \* 令 る 立 理 れば行 d 受 9 7 ば 7 領 大 χ); <del>--</del> 六 定 10 ح 耆 そ M 2 四 L る な XDS. ---利 0 合 号 なが括 問 圣 後 た 道 題 了 で 失 ケ は 思 状 既 用 Z 0 あ 軍 C. 況 を L 表 C نے ہے ہ る · U 1t 不 P ~ 示 僅 な方 地 O 内 服 米 期か 饺 b M れ的 \* 更 政 化 料 ば 手 と 化 府 地 を る限三。で名 叉し 判はて 所能は 、続れ叉に主供 \$ 1C

₹.

9

地

裁

\$ 64b

理

総

くし用布乍収て能 てッ エロアれ 計い及 軍 5 兵を声 画るび なにし 中 此如 L を 令べ D A つ公二不米行区第 ツ用側 使エーれ政はで ツ地はす兵六てと布へ 5 プ 、長号た議 港用た ラ 声解 \ 放にとがに如 ے イ明 スの等 至 の流 基きる六力 と地 は勧発する全球く 列 ▶元 に一島然 村る C の位 辺民地 0 長 権 7 を へ野 を 料的 済の古 引な官利 のく 1C X) H 和 /**b** げ告 7. 此 の連試 \*\* b ットて Ø る の支 一態 反で とた国 港のるめ接 Ŀ

いて 5 Ł 0 6 では 会 月 行 る 由 ŽŽŠ ح Ø 公 で主当 ع うはで 国 は 国 IC ` 期 0 至 主 日 の注間 ・っ地 ~ 冷 意 六 針 た 間 主 と来 0 い深 経 は防 米 題 立 島 < 過 来 号 闻 Mi O 泱 意反後 ZZ を響 b 土业 での 1 政代米 潜を な 終の地 と状表 め見 な Ł 時 で間 国 回 b C 老 て極 b 説 法 め的 0 IC E るっ手 決で とり続 と途 b 楚 る Ŀ 土 9 ይ 官 • չ Ø た を 察 底 ら 果間 及 強 , ° " 得 S. 知に ぅ た題 しはと た K V 立 当 長 恢 な当は け部し 疑のな

C &

\* あ

表 言

€.

理

(イ) を右をを米出乃 を立る IC 法 動 汝 b 全 **〈** ٤ る 委 院 き を ے を行 員 ははうり ~ いて一五次布切 、民致月の る特 政で六如 第 と 別 ځ Ħ ક 委 土 7 六 3 ع る一」員法 号 会 る 力括た Z) 别 0 化 戦 て ક VA 要払が 5 長 7 6 0 7 ) Ø 力 十を あ 現 令 五 文 リ 第る 日開 打 の止月 ン第 ح 回 = 1 + 照 Fr - 1 ے の六 Ь n 会 通が 凡四 告観ゆ号 • • Ħ を大告告 以取るは をる本俟 佐知案 会 後さ抵既 文 9 決 蟚 議 7 のれ抗に 扩折 を 法 内括 琉る C 0 反 衝 開 容払 球 鹺 き 対の を ` 間 質 運 余 副軍士家疑

を と方の 者 て 計は չ 숲 一 日 2 法 見 0 立 疑 院 点 źŚ を 正 四 民 3 b > トトを力原 政 局 で則 立 L - Z 化 長 法 発 当 院 送 共す 認 会 参 b す集 告反る 質ーる第 知対と 成括 ب ح 書で と と回 の払 第あく 地いく告 - b L 号うた 生 反 し 知 の対き を布 0 取令決 意を主の

(m)

政

3

一一思表席內行消第

は容

(m)

方

> > は区

一な関

6

旨

合

とにいを主

令

第

き主六市那

号

払 法 改 会 所

い院廃がに

> 要 土 会

括立の長

止土請地

- II

HT

村

のはに申代と

地

せ三解

日は

化六

H

を明

る

0

反

效

だ ب

表 見 的

述

~

た括

は好

る

0

Va

**\$** 

治

意

長 一 括

会日払

対 軍 反

策 用 対

合

で

F

で

す

請い

決 関

議す

L. H

▶ 及

夫び

\* -

要

5 五民八住又 法 五 者 主 席 月 ば 月  $\mathcal{C}$ 席 ይ 大 H 民 用 H H 杏 立 法 0 n 0 土侧 9 H う Ø 里 岸 ~ り 策 首 Ž 0 主 を院 9 1C 0

**(=)** 

見

交

换

ΝŠ

な

Z

反た間

效 於 主

亚

法

院

側

չ

IC.

近

ራ

3

۲

要

決

老

の行実

払

反

腰

IC

5

b

激

渌

C

主

ይ £

立

法

院

阻代吃

表 立

0

5

3. Z)

ச

相 土 E 渡 米 政 遣 ĝ 社 府 10 D を 大 臨 决 党 筵 み 立 ľ C là L **b** 土 次 院 た 地 成 算 問 の各 里 題 F は領用収り、

(1) 軍

連

合

た

を

b

通

留

主

主

渡

申

出

期

限

**%** B

0

固

定

ZIS

る

主

応

5

叉 受

K

8

Ŀ

運

利

溢

がの五

算

XX

Ь

ونسو 6

過

A.

U

用年

分

6

れと る 念 B 礼 る 0 必 要 な 6 ば 新 布 令 を 出 L 7 貰 \$ 2 Ł 考

(n)立多 自かいだ収 `不用 法 行 分 を 6 Z. 通 院 が日と 砂 ヽれ 岸 本 れ確 分し n た民ば首民にだる 号行 自 信与主行相 法 のくら利 を考覚き 渡 なへはた米規 行 < で土い前定 約 日内 Ø `にをた本容 d L と本翻 る民に 総 N 5 をいる連話土駅と法プ がのしへるとにい 3 とあ О 、五た行せを則て する窒 るがしそレケ程 くてはるは り地限 ↑ ↑ れ 長 年 度 Ł 、不可で官賃だの民き役定 取及貸 ○ 説 政 b も府 さの保 なりび借 伝に せ取有 ら敢フ契 a E ばえ次約 8 ~ た得権 項 ~ ば布ず官 > ら提 h R E 限世 れ出 0 切云 令はと 定め の布の年 たしそ替 がてのえの はて政命会払 ゝあ見ては 保布正に談り まる地質 有令ま依のの

(27) へでそ米用用権 **迄 單 て 号 付 な に** 用いそ保い対 事 手化 土るの有がし 決 至 よは る発 る の設社く 連 本 ----Ο. 1 定 大 泡 合 任 土 重 行 りせ へる بخ 地会 党 新 折 規 ŧ 全 回強は た \_ の薬 と制 大 接 い表 決 江 \* 差 \* 収 体 収 が主続項 告用内反と派し 会 搜侧 長 か収がて賃 知の心対の遺 \_ 者 規 民 \* 考しし 7 又 行 貸 め布 現 工く借 の定主四へ n て令 取を党原を岸地 3 4 消拒の則 と首の 硬 六 し止線 貫 つ相折 9 で頭 で四 要 すに徹ての衝 なに 結 号 求べ同のい渡は羽 る部 果 a 目 料 < 調一る米 限 0 ° ℃界℃受岩的 本 は項 1 人よにな領 を布の槍 し使 0 くを 民る 来れに軍用 れ適 令 も変 党対てば応が権 て用 h d 一、えは米いそぜ強 な飽 出穴限てと折るれず制の 12 K し四定いれ衝のと、収活

阻

主

澺

U

極

強

±.(

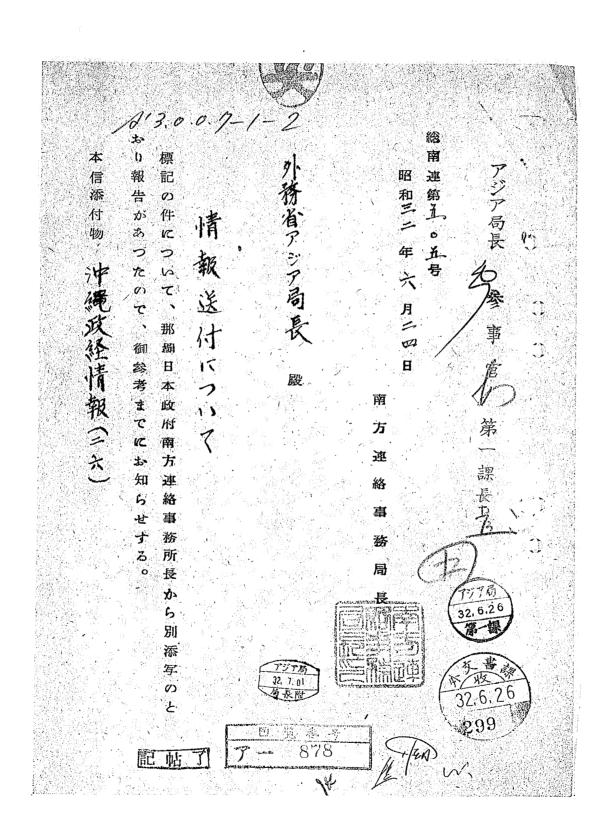
M

主席は一名の 今 此 回の那前 の渡米交 立法 覇は *2*) Ø 市軍 渉を強く進めて貰いた院の尻を叩いて強力な ガの用 ガキ運動をやつたところ、千七の関係地主に対し、土地総連の用地主の自紙委任状取纏めで肉 と判った していることを本土で認識して貰いたい。く進めて貰いたい。地主は飽く迄斗い抜くを叩いて強力な反対運動を行り反面、岸首 七の内百名部 金の回答中で一括払い 養 の た 成質が

総 理

府

, TOOL ENGINEERS AND SELECT AND SERVICE STREET, AND SERVICES AND SERVI	ACTION AC	40-46-20-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-			七号	六号	五号	号	三二号号	- 号	b
		(144) (1 - 141) - 143 (2 - 141) - 141 (2 - 141)		e diction requirement was object of manifest (from the figure	佐敷付、大里村	中城村	コザ市	久志村、辺野古、	三和村、高嶺村、仲里村	在 音町、山下町、 通 堂町、 小禄、 鏡 、	収 用 地 区
	÷	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	e		1 1 0 四 4.	二 尹 九		四 〇 五	^		総坪数
			٠	A Company of the Comp	〃 四年六ヶ月	〃 四年六ケ月	〃 四年九ケ月	<b>ル</b> 四年 四年	期賃借権	補償額 四一七九一九三三種償額 四一七九一九三三	条
	P & . &			総理	1 K A K 1 • 0	프 丸 으	л =	八一六 • 0	也.		件
;	of another and another act			府	0	)       	0		0	が、一つ一つ、一方の一	



# 沖縄政経情報(天)

那朝市会下了了

二日会口仲門真无楷、比嘉祐直、喜久山朝重、上旬 朝 和の四 氏が主

南紙に合流したのは十六日日曜日の在半であった。

一日会は類長市長に対して最初から不協力であるが不信任の理 由が十分整的的なければ政治的明分が通うないとの理由で今まで踏

か切いなかったのだが統銀からの融資ストツが建由についての書物によ

副賞ストップは軍からの命指令ではくて何處までも運営賣

化者である総裁目体の確限に展するものである事が明確にはる

ので予算の四分のに当る都計事業が完全に見るしかつからくは

り不信化の理由がはっまりしたため、合流に踏切ったと言ふのか表向を

の理由である。

•

宮城嗣告氏は原田副官と通びて軍首腦部と極めて犯となけ であるが、伊井真元楷氏、无り別場協会長で中央別場主 此事の関係で最も銀心書である。軍の見解としては二日会と動かし て仲并與氏の不信性の同者で要請した、 又得るものは仲井真氏である事を十分知であるので多城氏を通じ )とも元来

仲中與氏は沖映東京支社を利用して或在事を計画してある最 一切が利差風係等の諸條件に引多城氏の説得を聞か

ぬばはらなくはくて逆に同ために計って見る事にた、

21 同志(日会)の中で比多成及者は食肉を軍に納入してある関係から

り一人で早速設得に発りむしたところ、人馬友歌(首里父社長) 軍の内省にを知ると、どうしても仲氏臭氏についていかんなりらい事に

山菱潭(首里父界務)儀武日心睦(首里父過查役)等は

4. 3, 理由 かへてのゼスケヤーであり、内容に於ては利害関係につけかってゆる も通過出来は、場合にのか不信任すべきであると不信任同者と 3 刊と公教してあるが、不はあくまでも選挙民への次期選挙をの 久高友級氏は新闻紙上で予算審議後に新予算がどうして 着に対して「妖治かかとしてとるべも能を度ではい」(沖縄新聞八日朝 の協力を得正直後だけに伸手臭氏の説得に同意するめけには 最近現在の地位を獲得するために類長市長省里バスシス株主 英の構成シバーは いけいりでかるない分れてしまらた。 強く作用してゐるが其の他に左記の理由がある事も見逃してはな 不信作人踏か切了之人在前風的樣的利害奧的了時間的最大 市長派 一寺役所が人民党のアケラ 反市長然 東左軍 現れず役所四に後四到委員会がある 國場革太郎 会的阅議 松根 辛善終務部長 种山孝標 長做數似部長 東江水道課長 稔 の場合は若干苦飲入部長が議長とは トポイントにはる可能性が十 首里支所長 (无五法調查員 小緑支門長 人民党 人民党 1 分見えて

市計画課長的解任七名からうものうしく、多同僚の系の部課長 るので多数決下一常一三対で市長水が勝ってゐる。 最近の都 市役門の劳力組合(現在軍心申請中)も其の書記長の佐渡 は常に戦な残るの状だだである。 山氏はえかしてうう人等議の指導者で解化になった人民党员 は保守の窓かを結集しても、人民党の勢力はあるへ難いもから はる公当りがたまいりで早期不信作の実現とけったのであらう。 以上の諸般の事情は人民党勢力が強しはるはかりで、一手後に 一般然として居るので不信任と多にな様だ、 を稼せかす棒事にり、市役町が人民党の果城にはる事が である事等から、類長のとして政権の座に長く在社は役時 () 市民集合が人民党の党勢旅程の演出会にはそいる。 いて来ている。 (日)市民新聞り内容が最近人民党の残関紙の性務を十分あ

アジア局長つ 昭和三十 外務省アジア局長 年 六 月二十二日 所して 総理府南方連絡事務 番号 899

SOCIALISTS, JAPANESE RADICALS RUSH TO SENAGA DEFENSE AS ELECTION IS SET FOR AUGUST 4

Naha's communist mayor formally dissolved the city council at 1 p.m., yesterday and set the stage for a bitter conservative vs radical battle which will take place between now and Aug. 4, the date of the new election.

Official announcement of the new election will be made Thursday by the Naha election committee and candidates will begin registering for the contest on July 16, according to the committee.

A communist-socialist coalition was quick to get into operation following Monday's non-confidence vote which ousted Kamejiro Senaga from his post as mayor. Ten candidates indicated that they will favor Senaga if they are successful in the coming race. They have already begun campaigning.

The conservative or "Thomarite" camp was slow to reveal its plans. Which ever group

In an apparently unrelated incident yesterday one Naha citizen expressed his displeasure with Senaga's conduct since taking office as mayor of the Ryukyuan capital.

In a paid ad which appeared in the Japanese language Okinawa Times, a former city official attacked Senaga and asked:

"Who is preying on Naha and its citizens?

"Who is wasting the taxpayers money?

"Who is abusing his power?

"Who has become an arrogant official?

The ad was signed by Koen Kaneki, former chief of Naha's zoning commission until he was fired by Senaga for an unexplained reason. Kaneki had been known as an often bitter and outspoken critic of the communist mayor.

seats 16 candidates in the special election will decide whether Naha will be run by a conservative or radical government.

Radical groups, mostly outside Okinawa, have been quick to rally to Senaga's defense. Early telegrams which promised Senaga support were received from Sohyo, the militant leftist Japanese federation of trade unions; the communist dominated Japanese railroad workers union the Amami Oshima branch of the Red tinged Japan Teachers' Union.

Mosaburo Suzuki, chairman of the central executive committee of the Japan Socialist party, also promised his support to the hard pressed Naha mayor.

Okinawa socialists held an emergency meeting Monday night following the non-confidence move by the anti-Senaga faction within the council. They proposed to add five candidates to the office seekers including two prominent party members, Saichi Kaneshi and Zenko Yamashiro.

It is anticipated that the communist directed Okinawa peoples party will enter eight to ten candidates in the race.

It is assumed that both the socialists and the OPP will campaign strongly on the "reversion to Japan" and land acquisition themes.

Conservatives are expected to base their campaign on the economic and social progress which Okinawa has made in the past few years as the result of American financing.

A minor skirmish occurred yesterday when Senaga boycotted a scheduled council meeting at which the "Senaga budget" was to be discussed. Speaker Seiju Izumi, angered at Senaga's "arrogance," called the meeting off before it was scheduled to begin and was thoroughly denounced by the three OPP members present who chanted in unison: "Speaker, you are violating the rules."

The Senaga backers claimed that the previous day's non-confidence vote had relieved the Red mayor of any responsibility for attending the meeting.

### SENAGA, UNWELCOME NAHA MAYOR

Monday's action by the Naha city assembly has raised Okinawa in general and the assemblymen in particular several notches in the eyes of the rest of the free world.

Naha's city councilmen, or at least 24 of them, have chosen to risk their political futures in behalf of an ideal. The ideal is one of opposition to a scheming mountebank, a twice jailed political opportunist who has admittedly worked against the best interests of his own country when it suited his political objective of the moment.

Kamejiro Senaga, Naha's current unwelcome mayor, went to jail in Japan as a menace to the emperor system and a threat to the Japanese empire. Senaga boasted further that during the battle of Okinawa, as Japan was losing the war in the Pacific, he actively assisted the Americans in defeating his own countrymen. Today he stands before an audience of Okinawans and emotionally urges them to seek the restoration of Okinawa to Japan.

Why? So that Senaga can again betray the country that he has betrayed and fled in the past. Or is it that Senaga is homesick for his former cell that he would hasten to again place himself within the jurisdiction of his former jailers?

Senaga went to jail while the United States was administratively responsible. This time the charge was shielding a fellow communist who had been ordered deported to his native Amami Oshima. During both jailings Senaga demonstrated that he is the sworn foe of legally constituted authority. In fact, he seems to be the foe of all authority except that bloody, despotic authority which is displayed most effectively behind the iron and bamboo curtains.

The Naha city assemblymen deserve the well wishes, and for that matter the votes, of all who admire men who stand up for principles which they feel are right.

Senaga's own theories of right and wrong are too obscure to discuss here. Needless to say, it has been demonstrated that his incumbency in the Naha mayorship has worked a great hardship on the city itself and the people within the city. If he were the human-itarian that he would like people to believe that he is, he would have long ago slipped back into the obscurity that he occupied before he was elected mayor on a split ballot last Christmas day. Senaga's own determination to inflict himself on Naha despite the wishes of the majority of the

councilmen is proof that he considers his own welfare before that of the people whom he represents.

The world has always been troubled with warped and wilful little men and Senaga is a prize example.

In the name of liberation Senaga accomplishes enslavement; in the name of truth he spreads lies and while he preaches the dignity of man he is busy debasing his followers to the role of dutiful sheep.

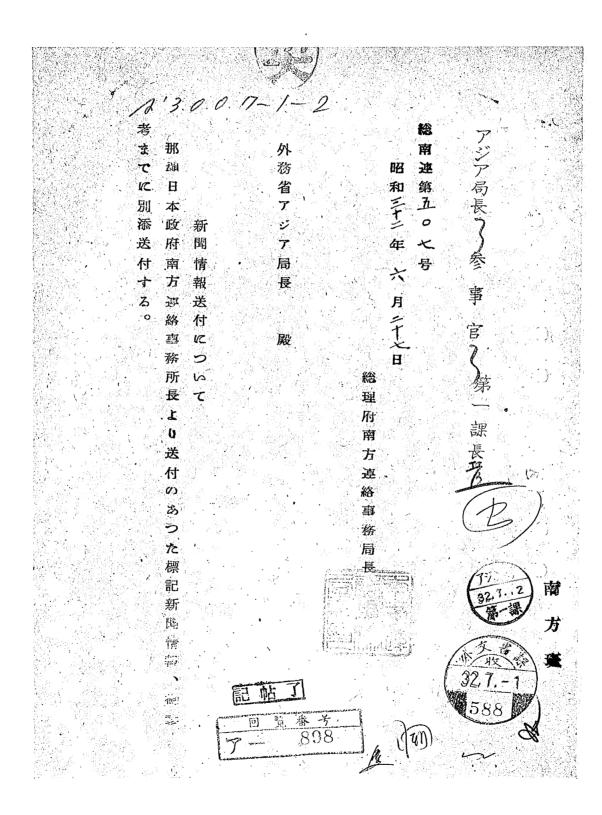
The 24 Naha councilmen who recognize Senaga for what he is, a threat to society and a living lie, have done a great service to their community and have elevated Okinawan politics to a spot where the Okinawan politicians can hold their own among the best of the world's statemen.

These same men could lose by their unselfish act if they are not properly supported at the pplls when the new election is held.

They could lose, but it is fervently hoped that they will not.

かった

. . .



# KOZA BUSINESSMAN TOURS JAPAN ON CYCLE, RETURNS TO BLAST REVERSION, PRAISE US

By MASAO NAKACHI

A Koza businessman who recently completed a 2,000 mile motorcycle trip through southern and central Japan reported yesterday "in Japan I realized for the first time how lucky and progressive we Okinawans are under the US civil administration."

Thirty-eight-year old Hoei Kishimoto, father of four children and owner of small shop at Yaeshima-ku in Koza business center area, said yesterday that his motorized trip between Kagoshima and Tokyo last month gave him, among many things, a better perspective of conditions here and in Japan.

"I carefully compared things there with things we have here, and I must report that we have accomplished many things in Okinawa which Japanese envy and which we are taking it for granted," he said.

Kishimoto, headman of his Yaejima-ku for the last three years, was one of five Okinawan motor-cyclists who conducted a 20-day cross-country tour through the cities and villages in Kyushyu and central Japan, under the sponsorship of the Ryukyu Shimpo, a newspaper here.

Relaxing at his neatly-furnished Koza home and enjoying US-made black tea, moon-faced Kishimoto explained that his prime objective in the cycling tour was to inspect various aspects of Japanese living conditions, especially on roads, housing, clothing, employment, port facilities, education and transportation.

"While on our way up to Tokyo from Kagoshima, I was disillusioned by the bumpy and rough-surfaced highways which are characteristic of most of the roads in Japan.

"The asphalt roads in Okinawa, and particularly the four-lane highways, cannot be found in Japan. Okinawa's roads are the best in the Far East, outranking those 'national highways' in Japan by far," Kishimoto said.

He then pointed out that, with exception of the metropolitan and industrial cities, misery and a general economic depression are observed everywhere along the 3,000-kilometer route.

Kishimoto said that it was his first trip to Japan in 20 years and that he was greatly surprised by what he found. He had been led, he said, by Japanese news reports to believe that Japan's economic prosperity was far greater than he found it to be.

He also blamed those Ryukyuan legislators who, visiting only those downtown sections of big Japanese cities, report back here with a great admiration for Japanese recovery.

"You actually have to go out to the countryside to make a fair judgment of Japan. All this talks on Japan's post-war industrial surge and the so-called "Meiji Soom" reported in the press are restricted to industrial and business sections of large cities and are enjoyed by a relatively small percentage of the Japanese population," he added.

The Koza man pointed out also that Fukuoka city in Kyushyu, with population as large as that of Okinawa and the largest city in the southern Japan, impressed him as a lifeless country-town. Aside from several tall buildings and manufacturing establishments, he said it compared poorly with the thriving, modern city of Naha.

"I was proud of Makishi street and other inspiring structures in Okinawa, and told Japanese newsmen so, when they came to ask me how miserable are conditions in Okinawa," he said.

Kishimoto says that Okinawan reverisionists should have another look at Okinawa from outside, instead of just listening to the 'politicians."

He said, however, Japan's rich cultural resources and tradition, unaffected by the past war, were worthy of heartening admiration.

### JAPAN'S RYUKYU BID DIMS IN WASHINGTON

WASHINGTON, June 10 (AP) - Authoritative sources said yesterday that President Eisenhower has no intention of granting Japan any voice in the administration of Okinawa and the rest of the Ryukyus at this time.

Japanese Prime Minister Nobusuke Kishi, who is scheduled to confer here later this month with Eisenhower and other officials, will find that the US has not altered its plans to retain full control of the strategic island chain until "tension" ends in the Far East, they said.

In fact, there are some indications that the US determinations to hold the Ryukyus has hardened as a result of the controversy over whether American military officials or Japanese civil courts should try a US soldier, William C. Girard, who is accused of killing a Japanese woman in Japan.

Regardless of the merits of Girard's case, there is some feeling that it highlights the diffuculty of trying to operate an efficient military base in a place where another country has civil authority.

American military authorities insist, and the State department agrees, that the American security system in the Pacific requires that Okinawa and the Ryukyus be held under complete US control as one of the key spots in the anti-communist defense barrier in the Far East.

The president has agreed with this assessment and sees no reason to change his mind, informants added.

American officials point out that Okinawa occupies an entirely, different status in Far East defense planning than do the bases that the US has in the Japanese home islands.

US military officials are restricted in the scope of their planning and operations at the bases in Japan proper because of the necessity of respecting the sovereignty of the "Host country."

But the American position in sole control of the Ryukyus which was set forth in the San Francisco peace treaty of Sept. 7, 1951, is entirely different and Washington authorities intend to see that it remains that way until there is no more threat from communists in Asia and the Pacific.

The fact that it is not certain just how much longer Japanese public opinion will permit American forces to remain in the home islands makes it more imperative than ever that the big Okinawa base remain under exclusive US jurisdiction, officials said.

At the same time, they recognize that Okinawa and the Ryukyus have become a political matter in Japan and Kishi has promised to do all he can to secure Japanese civil administration over them or, barring that, some voice for Japan in the governing of the islands.

Recognition of Kishi's political problem with respect to Okinawa and the Ryukyus may lead American officials to state that they will "consider" Japan's desire but it is not expected to lead to any real change in the situation.

一本外次被一百十一一一一一一一一一一一个一大四年一七四天一左一九八年 て小人以来 琉球段对五体院の日前段付あて持顧した五月十四 議次の量用と 冲緩軍用土地問題,解決具体等"別才。若清次旅 アジア同第一課長 切りり

果は見ります。を補いるりある 问题解决到十分要找法教()福神但山)以统人第二回目的"是可以問題解决

也是由十二社大人人民越们出了了一天主要作者如今上也想重提来。解决是伊桑文

出世問題解決具体亲如洪毫之小,才心下立法後后犯心論議之人,四屋别爱你

支持强调一《不九月二十大》《并管藏七年史海季的十七人天主艺》对

(社人人子生が底)心神状されたしのである。

田 在是は土地将有权の改造は家認切まる、、(一味神は震恐のでない) 飲養形也の前車的後中により新起接水を行わないことなれる小星中心の充足の 次城文的解识及序菜的内容以 母

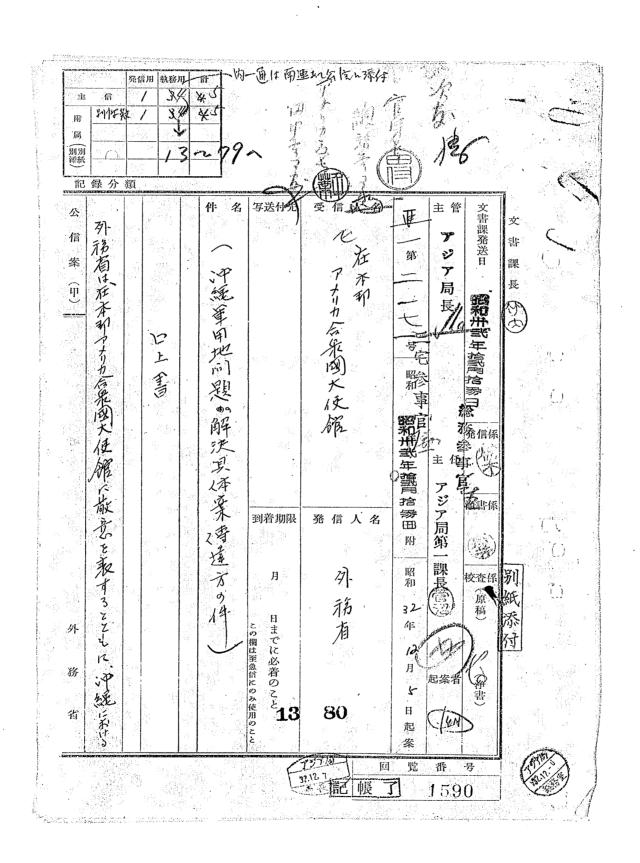
中要があれば不用をかに伝う

**\*** 

五いいことなる全利のはないからなると思いいれとえめる。

三 不然我一一小小人要没年很小家山十月自由西主意中透問題掛的 要出者很也米倒上海走上差少之事为十二二五姓之了如大孝之子。 元·力上参写官的八手至一·《别不英文考述》领 崇為十二十本法法, 日西政对の具件解决等了一个年十一月十一一年川下少了而长十月光大便解决是日中的十日 の外界で松で同かる。 西自然完全の量用心問題将走洞する西边里 委皇公の程室によう「洪德量用地問題解状に関する政対人の石池事は」

画 (Z) (120) 五千神を展到するが中華に送し 乳の年限以内の分のお神動できるまう考慮する (1) 土心を失いたるの」至生後中するようと島への海外移民産業用ないよる市局 現灯也料は著しくばいるの意正、再神他する 等中心内的地上物件 库状田级黄甲 三 和食物的神人是以上下日本間下午至二解決十二三、諸和老如後了多五年 四減失此, 量用道路。傍也水潭改失 以返還上也。 演想等年了我大工一是正當不確處手丁了



高 公 政对立法院 我权 軍使用工此問題解次是母亲(英文都於利添)之法後上次布以表於 遊次数文は同也にからてかの高等弁務電に提出が小ろかれるに流が 裁信 稻 案 案 (乙) 「新政对立法院は去る九月二十六日 學城達取此時次議文情行七日本國政府也然 司佐本公談家と 汗焼いかける

軍用土地問

題到

左

記のスかり

年上述へる老家も何する。

記

()

[]

(–) 不配停之起 猪之工 趣 をするかんことを である矣にかんかみ、友次後文を合思成成行は確達するとして なれ 日本國政对此、并解決具体案が沖絕在天の意思之及映した立法院的旅次 地大の適心化 新規極小 中山 76) 談長江 惠孩才。 (س) マッヤサー大 (<u>A</u>) 八松神成の平中の侵資循契的至 移民人で学像力の收取として合発国政社が大人の 1. 校儿司 6 3. 淡 馘 义 提中 后教图政对。好意的 (三) 投入の神順 同解决等一九十六

高公

裁 信

案 案 (乙)

外

務

()

1

Concrete Plan for Settlement of Okinawa Military Lands Problem.

(September 26, 1957, approved by Ryukyu Legislature)

### 1. New Requisition

It should be so arranged that no new requisition of land will be made. For this purpose every practicable measure should be adopted. For example, the most rational and efficient use should be made of lands now under requisition, while tidelands should be reclaimed by drainage or filled up.

If, after all such measures, additional land is still required, waste land alone should be assigned to the purpose, in order to avoid the utilization of residential and farming lands which may affect adversely the life of the inhabitants.

Further, if, farm lands already under requisition are lying idle, such lands should be returned as much as possible to their original owners.

### 2. Lump sum payment

The establishment of "determinable estate" under CA Ordinance No. 164 is not acceptable.

The contract for leasehold will be renewed every five years and a new rental will be agreed upon by both parties each time such contract is renewed.

In principle, the rent will be paid on an annual basis. However, whenever necessary, an advance payment in lump sum of such rent for a period of more than one year as comprised within

within the term of contract may also be considered.

### 3. Compensation for loss

With regard to the damage sustained by inhabitants due to the use of lands by the United States military authorities, a considerable number of cases still remain unsettled. It is desired that early payment of just compensation will be effected particularly for the items as listed below:

- a. As to cases regarding compensation for such damage suffered before the coming into force of the Treaty of Peace with Japan, early settlement should be reached between Japan and United States of America.
- b. Compensation for damage done to objects on the ground within military lands (tombs, wells, stone-walls, standing trees, etc.)
- c. Compensation for "extinguished lands" and lands taken for construction of military roads and for damage to reservoirs.
- d. Compensation for expenses needed for the restoration of released land.
- e. Compensation for damage due to military maneuvers etc.

### 4. Rent

Although the remarkably low rental rate which was in effect previously has been rectified to a certain degree based on

the

the Price Recommendation, this new rent leaves much to be improved as viewed from landowners. In computing rent, fair rate should be assessed by examining fully the existing conditions prevailing in the Islands in order to avoid undue loss to landonwers.

## 5. Other measures to be taken

In order to help those who had their land requisitioned reestablish themselves, the following measures should be taken:

- a. Emigration to foreign countries.
- b. Absorption of surplus labour population by means of industrial development.

高公 行ったので国口上書事を若方すいと送付すい 務

主信 据 近江 深 深 深 深 深 深 深 深 深 深 深 深 深 深 深 深 深 深	ノノタカ大優	和和文英文表)			
在有那个大力全年到天使雄·村山	去了几月子大口琉球红河之法院如次我心上上也問題解决具件案人出	年年華南衛題新大具府華天後季達 件	看 新水正云事的心衣 经就外共年齡所拾零日	アジア局長フトニの発送日の紹介式年倉門拾参日   係	文書課長で公
外務有口上書百七七元別许的二部少年十七七	也們起解決具於孝人到人十十十一日	月 日までに必着のこと	発信が著すがかる 各 13 79 日 起来 1	第一課長(原稿) 人 八(浄書) 卷 (原稿) 人 八(浄書)	别紙添好

()

我えいる科村に也かられたものりある。からおいないと言となるままなりないとは 本外口上書に関えて、十二月ているこのとろるでするでくれない

七

Ву :\_

ATTACHMENT RECEIVED

す 沖 る 繩 に 務 な け は • 🏻 る 軍 在 用本 土邦上 地 ア 問 メ 題 IJ にカ 関 L 国 左 記 大 Ø ٤ 館 な 申 意 し述べ を 表 す る る 光 栄を B

有に

年 += 月  $\equiv$ 

あ しと る る琉 办 軍 K 使 本 用 琉 決 土 立 地 法 政 文 問 題 立 は 同 地 決 具 K 体 長 お 5 て 英 A 文 日 氏 ア は 高 訳 等 别 弁 添 議 を 文 官 を に 決 提 出 L に 行 て た Ż てれ次繩 上る第に 京とでお

外

務

玉

政

0

(C.

る の な お 意的 決 Ø な 配 を 懇請 カ した趣 1 あ る 文 出 し 7 合 衆

要 及 るる 五と X Ø 日 議決で 力 ٤ 年 B 力 のんて 府 ぁ 賃 貸同 るは 点 契 決 に本 案 Ø, 件 解 案 K ん もが 決 (=) 損 具 み ` 体 失 た <del>(-)</del> Ø 新 冲 規 償 接収 を (四) 合 Ø 代 中 Ø 正 政 思 適 ` 府 を 正 (二) に 反 れんことを 一括 払に代 の移民

外

省

務

AMERICAN EMBASSY TOKYO, JAPAN OEC 1 3 1957 0 r. A

# Concrete Plan for Settlement of Okinawa Military Lands Problem.

(September 26, 1957, approved by Ryukyu Legislature)

### 1. New Requisition

It should be so arranged that no new requisition of land will be made. For this purpose every practicable measure should be adopted. For example, the most rational and efficient use should be made of lands now under requisition, while tidelands should be reclaimed by drainage or filled up.

If, after all such measures, additional land is still required, waste land alone should be assigned to the purpose, in order to avoid the utilization of residential and farming lands which may affect adversely the life of the inhabitants.

Further, if, farm lands already under requisition are lying idle, such lands should be returned as much as possible to their original owners.

### 2. Lump sum payment

The establishment of "determinable estate" under CA Ordinance No. 164 is not acceptable.

The contract for leasehold will be renewed every five years and a new rental will be agreed upon by both parties each time such contract is renewed.

In principle, the rent will be paid on an annual basis.

However, whenever necessary, an advance payment in lump sum

of such rent for a period of more than one year as comprised

within

within the term of contract may also be considered.

### 3. Compensation for loss

With regard to the damage sustained by inhabitants due to the use of lands by the United States military authorities, a considerable number of cases still remain unsettled. It is desired that early payment of just compensation will be effected particularly for the items as listed below:

- a. As to cases regarding compensation for such damage suffered before the coming into force of the Treaty of Peace with Japan, early settlement should be reached between Japan and United States of America.
- b. Compensation for damage done to objects on the ground within military lands (tombs, wells, stone-walls, standing trees, etc.)
- c. Compensation for "extinguished lands" and lands taken for construction of military roads and for damage to reservoirs.
- Compensation for expenses needed for the restoration of released land.
- e. Compensation for damage due to military maneuvers etc.

### 4. Rent

Although the remarkably low rental rate which was in effect previously has been rectified to a certain degree based on

he

the Price Recommendation, this new rent leaves much to be improved as viewed from landowners. In computing rent, fair rate should be assessed by examining fully the existing conditions prevailing in the Islands in order to avoid undue loss to landonwers.

### 5. Other measures to be taken

In order to help those who had their land requisitioned reestablish themselves, the following measures should be taken:

- a. Emigration to foreign countries.
- b. Absorption of surplus labour population by means of industrial development.